

タビーンチ
サクッと
わかる本



くわしい情報はこちら



Vol.2023

1 はじめに

本冊子は、ダビンチ入試（総合型選抜）についてよく知らない受験生に向けて、実際に受験した学生からの情報を受験生の皆さんに伝え、より多くの方にダビンチ入試（総合型選抜）を知って興味をもってもらおうという方針のもとに作成されています。試験内容は毎年変更されます。あくまでも、受験準備の参考として活用してください。

詳しくは、随時本学のホームページでご確認ください。

京都工芸繊維大学生協学生委員会
「ダビンチさくっとわかる本」制作チーム

目次

1	はじめに	p.02
2	ダビンチ入試（総合型選抜）とは	p.03
3	地域創生 Tech Program の受験をお考えの皆さんへ	p.04
4	一般プログラム【グローバル】の受験をお考えの皆さんへ	p.04
5	選考方法	p.05
6	合格後の流れ	p.07
7	スクーリング内容	p.08
8	先輩からのアドバイス	p.09
9	合格体験記	p.11
10	アドミッションセンターからのメッセージ	p.15
11	おわりに	p.16
12	編集後記	p.17



2 ダビンチ入試 (総合型選抜) とは

ダビンチ入試 (総合型選抜) は一般選抜とは違い、基礎知識、語学力、理解力、問題解決能力、論理的思考能力、文章表現能力などの資質・能力を総合的に判断する京都工芸繊維大学独自の入試方式です。



今年度の出願期間は9月1日(金)～9月8日(金)(消印有効)です。出願時には、「志望理由書」を書くことになります。

志望理由書では、自分が高校生活で頑張ってきたことを中心に現状を分析して自分の活動の振り返りをしましょう。自分の将来のビジョンに対して、今の自分はどこの位置にいるのかを分析することが必要です。必ずしも賞や資格が必要というわけではありません。大学で挑戦してみたいこと、あなたがどうして京都工芸繊維大学を志望するのかなど、熱い思いをぶつけましょう！「京都工芸繊維大学だからこそ」の理由が書けると良いでしょう。

3 地域創生Tech Program の受験をお考えの皆さんへ

地域創生 Tech Program では、理工系の技術をもって各地域の課題を解決する人材を育成し、特に京都府北部の地域及び産業をフィールドとして学修し、各地域の活性化に貢献する技術者を輩出することを目的としています。その拠点として、福知山市に福知山キャンパスを開校し、人材育成、産業連携の拠点として地域の方々の期待に応える取り組みを展開しています。

3年次後期に松ヶ崎キャンパスで学んだ専門知識及び技術をベースに、福知山キャンパスにおいて、地域課題の解決に取り組むPBL型の授業や、インターシップといった実践的かつ活動的な学修にも取り組みます。

4 一般プログラム【グローバル】 の受験をお考えの皆さんへ

一般プログラム【グローバル】は、各課程の専門を通して産業等のグローバル展開に貢献する意欲を持ち、科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心と、客観的な判断力、論理的説明力を有する人材を求める選抜方法です。ここでは、各課程の「求める能力・適性」に加えて英語によるコミュニケーション能力が問われます。もちろん受験可能者は帰国子女に限定しておらず、国内でもグローバルに活躍することを目標として英語力をつけられてきた方なら誰でも挑戦できます。

5 選考方法

ダビンチ入試（総合型選抜）の選考の内容を大まかに紹介します。内容は毎年変化しているため、あくまで参考程度にお読みください。今年度の情報は、大学のホームページをご確認ください。

第1次選考

午前：講義・レポート作成（学域ごとに実施）

はじめに大学教員の講義を聞き、その後、講義の内容に関連するレポートを作成します。もちろん講義では大学の内容が扱われることもありますが、大切なのはいかにその場で内容を理解し活用できるかであり、その時点で大学の専門知識を持っているかではありません。専門的な内容を扱う場合は資料の配布や解説があります。大学生になったつもりでしっかりと講義に耳を傾けましょう。

午後：プログラムごとに実施

一般プログラム【一般】 課題提示・レポート作成

長文の課題文を読んで、それに関する問題を解きます。文章に書かれていることについて自分の考えを説明するなど、読解力と文章表現力等が求められます。

一般プログラム【グローバル】 英語スピーキング・ライティング

スピーキングはコンピュータ方式のテストであり、モニターとヘッドセットを介して出題され、回答はヘッドセットに装着されたマイクを通して行います。ライティングでは提示された写真や絵から得た情報と自分が考え出した内容を合わせてレポートを手書きします。※サンプルテストが大学 HP の「入試情報」に掲載されています。

地域創生Tech Program【一般】【地域】【社会人】 地域課題レポート

全課程共通で、地域社会等の課題に対する理解力、分析力、提案力、更に語学力等を試す問題が出題されます。

最終選考（課程ごとに実施）

※参考：令和5年度入学者入試（令和4年度実施）のねらい

応用生物学課程

面接

説明能力、理解力、論理的思考力に基づく柔軟な発想や創造性、積極性、理数系の基礎学力などを測る。

応用化学課程

面接

基礎学力、目的意識、自主性、適性などを測る。化学、物質や材料、さらには生体関連物質に対する好奇心や学習意欲が求められる。

電子システム工学課程

面接・口頭試問

説明能力、理解力、論理的思考能力、発想の斬新性、理数系の基礎学力などを測る。

機械工学課程

課題提示・プレゼンテーション

自らの力で観て考えて創造し、それを表現する力の素養と、論理的思考能力、創造力、チャレンジ精神、数学、物理、英語等の基礎学力をプレゼンテーションにより測る。

情報工学課程

午前 講義・レポート作成

基礎学力や論理的思考力、表現力を測る。

午後 課題提示

グループディスカッション

提示された課題の中から問題点と解決策を見いだす能力、集団の中で他人の意見を理解し、協調して意見をまとめる能力を測る。

デザイン・建築学課程

午前 課題提示

グループディスカッション

問題分析力、プレゼンテーション能力、独創性、意欲、リーダーシップ、協調性を測る。

午後 プレゼンテーション

自己の目的意識、創造力、独創性等を測る。

※ 詳細についてはホームページに掲載する募集要項を必ず確認してください

6 合格後の流れ

この時期は「大学生になる準備期間」です。興味関心のある分野に打ち込む時間は十分にあります。課程の専門分野についての文献を読むだけでなく、大学の講演会などに参加したり、見学に行ったりすることもできます。机に向かうだけでは分からない理解や感動が得られるはずです。留学を見据えて語学を勉強する人もいます。高校生活をやりきるため、現役時代には分からなかったことを後輩に伝えるため部活動に復帰するのもよいでしょう。ぜひ今までとはレベルの違う「学び」や「体験」を探してください。困ったときは大学や学生スタッフがみなさんの「学び探し」を全力でサポートします！

11月15日 (水)

合格発表

大学のホームページ上に合格者の受験番号が掲載され、同日中に入学手続等の書類が発送されます。また、別途、ダビンチカレッジ・レディネスプログラム（入学前教育）で提出する課題も郵送されます。

11月16日 (木) ~ 11月22日 (水)

入学手続き

日程は合格後に発表

スクーリング

スクーリングは例年、12月～3月に、およそ1か月に1回の頻度で開催されています。学習相談をはじめ、大学教育の先取り講座や学生交流会、調査研究スキルの開発講座などが京都工芸繊維大学で行われます。そこでは、学生スタッフや教授に課題や今後の学習の相談をすることができます。さらに、学生交流会は、自分以外の合格者や学生スタッフと交流し、大学生活に関する情報を先んじて獲得する良い機会です。毎年、ダビンチ入試（総合型選抜）合格者は積極的に参加しています。

4月上旬

入学

7 ダビンチCRプログラム （入学前教育）について

ダビンチ入試合格後には、ダビンチカレッジ・レディネスプログラム（ダビンチCRプログラム）と呼ばれる入学前教育が行われます。

スクーリング

合格してから月に1度大学に行くスクーリングがあります。講義やGW実践、学生交流会などが行われます。

GW実践講座（グループワーク実践）

第1回スクーリングから最後のスクーリングまでの4ヶ月ほどグループワークをして、最終的にプレゼン大会を行います。オンラインと対面で会議を進めたり、資料作成を行ったりします。

添削課題

ダビンチ生は11月の合格後に添削課題として、数学・英語・物理・文章表現の課題がそれぞれあります。3回程度提出します。

プログラム参加者からのコメント

- ・最初は初めましての人ばかりで、電話での話し合いもお互い探り探りだったので不安でいっぱいでした。最終報告に近づくにつれ、案も具体的なものになったり団結力も生まれてきたりして素敵な仲間ができたと思います。
- ・課題やグループワークなど、SA（Student Assistant）や教授のサポートが手厚く充実していると思った。
- ・グループワークのいい練習になった以上に入学前に親しい友人ができたことありがとうございました。特に他課程の学生との強い関わりを持てて良かった。
- ・入学前の不安が取り除かれてよかった。文章表現課題で学んだレポートの書き方は今でも役に立っている。
- ・実際に入学する前から大学生としての意識や必要な能力を学べてよかった。
- ・課題を提出するために勉強時間を確保できた上、先生の添削がとても丁寧で驚いた。

8 先輩からのアドバイス

心構え

ダビンチ入試を受ける際には学校推薦型選抜や一般選抜のことも視野に入れて準備するほうがよいでしょう。ダビンチ入試は、これまでの傾向よりしっかり対策できるような入試ではありません。そのため、ハードルが高そうに感じられますが、決して手が届かないことはありません。気を張らずに楽しんで試験を受けるといいでしょう。皆さんの努力が実を結ぶようお祈りしています。

ダビンチ入試は試験内容が独特なので、志望する課程や学域に応じて対策を行っておくことが望ましいです。ダビンチ入試の勉強だけでなく、一般入試を常に念頭に置いてそちらの勉強も怠らないようにしなければなりません。ダビンチ入試の勉強、一般入試の勉強のどちらをも両立させるためには、日々の受験勉強をしっかりとしておくことが大切です。

グループディスカッション

他の受験生と提示された課題について議論をする中で、時間配分や周りとの協調性、自分の意見に筋が通っているかどうかなど考慮しなければならない点はたくさんあります。あえて他の受験生と議論することの意味を考えてみましょう。

面接

面接は課程によって異なりますが、志望理由、やりたいことや興味があることなど、面接でよく聞かれる質問を事前に自分で答えを考えておくと、当日落ち着いて臨めます。日々の積み重ねで自分の興味がある内容についてたくさん勉強したことが、面接で功を奏したという先輩もいます。課程によっては面接に加えて口頭試問が課される場合がありますが、焦らずに考えればそこまで難しくないので、緊張しすぎずに頑張ってください。

プレゼンテーション

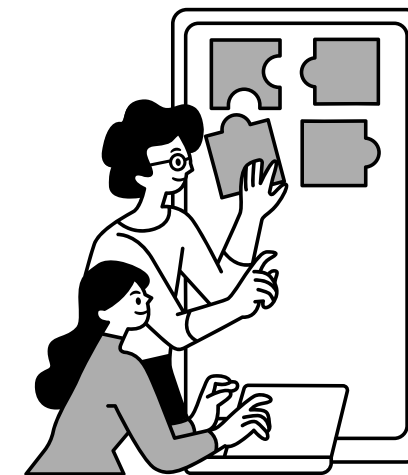
プレゼンテーションは毎年傾向が変わり、対策しづらいと思います。ですが、共通して言えることは、自分の思っていることをいかにそのまま伝えられるかが大切だということです。そのためには課題に対してははっきりとした自分の答えを持つことが重要です。質疑応答では、思いがけない質問をされても焦らず、論理的に自分の答えを示すことを心がけましょう。無理して急いで答えるのではなく、1度落ち着いて考え、自分の中で矛盾しないように気をつけて答えましょう。

レポート

レポート作成は経験がなく、問題を見て焦ってしまうかもしれません。しかし、専門性の高い内容は必ず事前の講義で基本的な部分が説明されています。その基本的な部分を簡潔に理解した上で問題に取り組みましょう。講義を集中して受けて、大切な部分を難しく考えず簡潔に捉えることが大切だと思います。

対策

ダビンチ入試でこれをやっておけば大丈夫という決まりはありません。人それぞれに合った対策の仕方があります。第1次選考のために小論文対策を試してみたり、苦手な分野の勉強を試してみたり、模擬ディスカッションなどの形で人に自分の考えを伝える練習を試してみたりするなど、やり方は様々。自分に合った対策をしてダビンチ入試に臨んでください。



9 合格体験記



一般プログラム【一般】合格者の声

情報工学課程 M.M さん

私がダビンチ入試を受験することを決意したのは高校3年生のオープンキャンパスのときです。元々ダビンチ入試があることは知っていましたが、総合型選抜には英検や留学経験、何かの資格や学外での活動が必須だと思い込んでいました。特にダビンチ入試は難易度の高い印象があり、一般入試での受験を考えていたため受験勉強の妨げになってしまうのではないかと不安もありました。ですがオープンキャンパスでダビンチ入試のディスカッション体験会に参加した際、「受かったらラッキーくらいの気持ちで、京工繊に入学したい意志があるなら挑戦すべき！」と先輩から助言を受け、「後悔したくない！」と思い受験することにしました。

第1次選考対策としては英語の文章を和訳する練習と段落ごとに要約する練習、他にも過去問を解き、こういった試験なのかイメージトレーニングをしていました。過去問に目を通しておいたおかげで、受験当日は落ち着いて試験に挑むことができました。また、志望理由書を書くことで受験生としての意識も高まったように思います。最終選考対策ではグループディスカッションを学校の友達と行ったり、受験する課程にまつわる最新ニュースを読んだりもしました。実際にディスカッションを経験することで意見の違う人と話し合いを重ね1つのものに導いていくことの難しさがわかり、コツがつかめるようになったと感じています。

ダビンチ入試は決して簡単で楽な試験ではありません。ですが、合格のチャンスを増やす機会でもあります。この大学に入学したいという強い意志があるのであれば、是非挑戦してください。皆さんの努力が実を結ぶことをお祈り申し上げます。



一般プログラム【グローバル】合格者の声

デザイン・建築学課程 S.S さん

私がダビンチ入試を受験しようと思ったのは高校3年生の6月でした。高2の夏から高3の6月までの間交換留学に行っていた関係で、英語力と留学経験を活かせるダビンチのグローバル枠に挑戦しようと思いました。本格的に準備を始めたのは夏休みです。日中はデッサンの練習や総合問題の過去問を解いて、夜は一般教科の勉強をしていました。また、それと並行して志望理由書・自己アピール文の作成と英語の勉強もしていました。英語対策としては、お題についてひたすら喋ったり写真の状況説明をする練習や、ライティングの添削をしてもらいました。スピーキングは状況を想像して説明するような問題だったので、普段の生活の中でのワンシーンを英語で説明したり、すれ違った人に関する想像を英語で呟いてみたりして常に練習していました。また、自分が喋っている音声を録音して発音や速さなども改善していきました。

第1次試験は書類選考と講義・レポート作成と英語で、最終選考はグループディスカッションとプレゼンテーションでした。スピーキングはコンピューターに向かって喋る形式でした。ライティングは小論文でした。英語力だけでなく、英語を使って意見を述べる能力が必要になってくると思います。

ダビンチ入試は独特で、対策などに対する不安もたくさんあると思います。ですが、それ以上に自分の個性や学力以外の能力を最大限に活かせる入試だと思うので、ぜひチャレンジしてみてください。皆様のご健闘をお祈りしています。



地域創生 Tech Program 合格者の声

応用化学課程 S.K さん

私は、高校生の時から地方創生に興味があり、自分も地方創生に携わりたいと考えていました。また、私は化学が好きで、特に繊維系に興味があり、将来その研究をしたいとも考えていました。そして、その2つを両立できないか調べたところ、京都工芸繊維大学の地域創生Tech Programがあることを知り、ここでなら化学についての知識を深めながら、地方創生に関わることができると感じました。私は京都府北部出身ではありませんでしたが、北部出身でなくても受験可能だったのが後押しとなり、ダビンチ入試の受験を決めました。

地域創生Tech Programでは、色々な課程の人々がお互いの知識を出し合い、京都府北部というエリアの課題解決に取り組みます。立場の違う人々が共通の目標の中で共に考え、創り出すことはとても面白いです。自分の学んだことや知識を地方創生に活かせることが魅力だと思います。

ダビンチ入試を受験するにあたり、志望理由書を考えたり、対策をしたりとその負担が増えることからダビンチ入試の出願を迷う人がいるかもしれません。しかし、ダビンチ入試は合否に関わらず、志望理由書の作成を通して、客観的に自分を分析し、自分が何をやりたいか、なぜこの大学を志望したかを見つめ直すとても貴重な機会だと思います。さらに、それが合格への原動力にもなり、勉強にもねばりが出てきます。京都府北部出身に関係なく、地方創生に興味がある人、自分の学んだことを社会に役立てたい人、社会問題に取り組み、課題解決の即戦力をつけたい人に地域創生Tech Programの受験をお勧めします。

ダビンチ入試に不合格したのちに
一般入試で逆転合格した先輩も多数います。

ダビンチ入試 不合格/一般入試合格者の声

試験内容の感想

- ・時間が足りない
- ・英語は出来ておくべき
- ・数学の問題が非常に難しかったように思われる



気持ちの切り替え方

- ・もとよりそこまで準備してなかったのでもそこまでひきずってない
- ・皮算用をしないことが大事
- ・ゲームをする
- ・受からないと思いながら受験したので切り替えはすぐに出来た

ひとこと

- ・ダビンチで落ちても無事に一般で受かってる人がいるので、迷わず受けてほしい
- ・結局前期で合格したので、ダビンチには「合格できたら俺すげえ」ぐらいの気持ちで、基本的には一般に向けて勉強すると思う

10 アドミッションセンターからの メッセージ

本学のダビンチ入試（総合型選抜）の特徴は2つあります。1つは、受験することで大学進学イメージができ、なぜ自分は大学に進学するのか本当の意義をつかむことができるという点です。これは、受験勉強中でも大学進学後でも、また大学卒業後に社会に出ても、自分を奮起させる核となる考え方になります。もう1つは、ダビンチ入試（総合型選抜）で合格した学生は、大学での活動にとっても意欲的に粘り強く取り組むという点です。先述のとおり、自分のキャリア設計に信念があること、また他人から言われるのではなく、自分から主体的に学びを求めていく姿勢を持っています。さらに、新しい知識に感激し、新しい考え方を面白いと思える人です。ダビンチ入試（総合型選抜）は、そういう未知の世界を楽しむことができる人にぜひ挑戦してほしい入試です。これまでもダビンチ入試（総合型選抜）が不合格でも一般入試で合格した人が本当にたくさんいます。最後まで諦めず、自分の夢に向かって全力を尽くしてください。応援しています！

京都工芸繊維大学 アドミッションセンター



11 おわりに

この一冊を通してダビンチ入試（総合型選抜）について紹介してきましたが、いかがでしたか？ダビンチ入試（総合型選抜）に興味を持っていただけたら幸いです。気軽に受験することが出来るダビンチ入試ですが、簡単ではありません。しかし、簡単でないからこそダビンチ入試で得られるものは必ずあります。京都工芸繊維大学を目指す人は是非受験を検討してください。ダビンチ入試での様々な経験を通して、京都工芸繊維大学に行きたい気持ちはより大きくなることでしょう。京都工芸繊維大学で、みなさんを待っています。

京都工芸繊維大学 生協学生委員会
「ダビンチさくっとわかる本」制作チーム

「ダビンチさくっとわかる本」は Team AOのメンバーが作成しました！

Team AOとは？

生協学生委員会内のダビンチ生をサポートする団体です。総合型選抜の旧名称AO入試から名前をとってTeam AOです。主に夏のオープンキャンパスで、「ダビンチさくっと分かる本」の作成やグループディスカッション体験会の開催、ダビンチ入試合格者が集まるスクーリングで、グループトークや学内散策などを企画・開催しています。

制作：京都工芸繊維大学 生協学生委員会 Team AO

◎ 情報収集者

崎村柊太 毛川拓哉 阿波野隼英 和田泰樹
小林玲仁 辻野大翔 澤田こころ 大木啓太
園井匠 加藤諒大 富田美乃葵 森田芽衣

◎ 編集者

中山瑞樹 鈴木杏子 川野涼香
南美瑛 田京知佳 中別府和奏

